

第12回市民自治推進委員会 会議録（平成28年8月8日）

発言者	発言内容等
	開 会 委員長あいさつ
委員長	審議事項1、地域コミュニティ活性化事業について事務局から説明。
事務局	事務局による審議事項1 地域コミュニティ活性化事業の状況説明。続いて、審議事項3、市民自治と協働によるまちづくりの推進に向けての提言検証結果報告書（案）について説明。
委員長	事務局より説明のあった審議事項1、3について何か質問は？
委 員	移動販売促進事業は川滝だけでなく、豊岡地区でも要望があると思う。小規模店舗の廃業が多く、高齢者が買い物に困っていることはよく聞く。JAが本気で取り組めば全国的に広まるのではないかな？
事務局	内子町の現地視察に豊岡地区の担当職員も同行したが、山間地域だけでなく豊岡地域でも生鮮食品を扱う店舗が無くなった。コンビニが1箇所だけのため高齢者だけでなく地域の方々全員が非常に不便を感じている。 セブンイレブンは店舗の3キロ以内で500円以上の商品を購入すると無料配達をしている。
委員長	松山では宅配が新たなビジネスチャンスとして注目されている。しかし山間地域では、なかなかビジネスの軌道に乗せるのは大変である。
委 員	イオンも宅配事業を展開している。生協等とタイアップして事業拡大できないか調べてみてはどうか。
委員長	個々に対応することは難しいので、地区単位でまとめて取り組んだ方が取り組みやすい。
事務局	移動販売について、内子町に話を聞いたが、正直商業ベースには乗っていないとのこと。一番の売れ筋はアイスクリームである。
委 員	金田町では、小さな商店が買ったものを運んでくれるところもある。地元の中心的人物であり、独居の方にも勧められる。本来こういう人の繋がりが大変重要である。金田と川滝は地理的に近いのでタイアップして事業展開できればいい。
委員長	検証結果の報告書の内容、その他今年度の予定事業で何か意見はないかな？
委 員	イベントPR事業も実施予定であるが、豊岡や蕪崎でもやはり地域住民へのPRが不足しているのではないかな？

事務局	昨年豊岡では7月の広報と一緒にチラシを全戸配布しているが、今年度は防災キャンプや清掃活動の情報を含めて年3回は発行予定である。
委員	川滝は事業が増えている。他の地区でもこうした取り組みが増えれば今後の展開に繋がると思う。そういう意味でも先進地事例になったのではないか。
委員長	検証結果報告に関して、またモデル事業3地区における平成28年度事業計画に関して承認いただけるか。
委員一同	承認する。
委員長	続いて自治基本条例の進捗状況について説明をお願いします。
事務局	事務局による自治基本条例の進捗状況について、事務局から説明。
委員長	今の説明について何か質問等はないか。
委員	広報委員と自治会はイコールではないのか？
事務局	自治会が無いところもある。
委員	メディアの活用、情報提供の部分だが、自治基本条例は、日常に直接接していないからピンとこない。市の広報誌も「楽しい」や、「楽しみ」というイメージがある紙面の作り方を工夫してみてはどうか。結構お年寄りも広報誌を見ている。市と市民をつなぐ非常に重要なツールだと思う。
委員	自治会の活性化と連携強化だが、モデル3地区では自治会の事業連携が図れたことが伺えるが、防災の関係では「防災計画を練った」や「お年寄りのいる家を把握した」といったようなモデル事業の事例はないか。
事務局	蕪崎地区において図上で避難訓練を行った。去年は防災に主観を置いた。これまで自主防災組織は7地区のうち3地区だけしかなかったが、コミュニティにおいて災害時の避難訓練を行うことがきっかけとなり、6地区くらいまで自主防災組織が立ち上がる見込みである。
委員	地域コミュニティの3地区にしても、リーダーが重要なポイントになってくる。先日、四国中央市自主防災会連絡協議会を立ち上げることになっているが、166団体あり、自治会が母体となっていると思われるが、指導者がいないのでどうしたらいいかわからない状況である。
事務局	防災を通じたアプローチだが、愛媛県に自治会組織の連合体があり、愛媛県自治連合会という組織がある。四国中央市の場合、広報委員会が加入しており、その中の議題で西条市から「防災を切り口にした自治会組織の拡充というか、加入促進はしているか。」という質問があった。やはり他の地域でもそうだが、防災を切り口として自治会を更にもう一回立て直そうというのは他の市町村でも議論されている。やはり防災を主案において進めていくと進めやすいと改めて感じた。

委員長	<p>高齢化社会では、一人では逃げられない方が増えてくる。その時にどこを頼るのかということやっぱり町内会なり自治会になってくると思う。そして若い元気な人に頼らざるをえないはずである。そこを広げて事業展開して貰いたい。</p>
事務局	<p>四国中央市270の集会所がるが、おそらくそれ以上に当然自治会がある。推定300位はあると思う</p>
委員	<p>自治体の中でも色々と集合体がある中で、わかるところから調査に取り掛かってみてはどうか。</p>
委員	<p>自治会の調査が必要に思う。防災会が全体の6割と分かっているし、あと消防団とか愛護班連合会、防犯協会、色々調査する糸口はかなりあると思う。川之江の大門地区では、連合会を作って自治会連合会で活性化を検討しているところもある。そのあたりも一緒にもっと前に出て行けたらどうかと思う。ボランティア市民活動センターの問題は、コーディネーターの重要性が求められるが、待ち構えるのではなく、前に出てほしい。現在社協に委託している訳だが、広報を含めて前に出て市民全体に伝わっていくという形が必要である。メディアによる宣伝広報や広報誌等による周知については、量販店の掲示板に掲示物を持っていくことも検討してはどうか。都市部、東京や千葉等では量販店の休憩する場所にある掲示板に市の広報等を貼っている。なぜなら広報誌を貰ってない方々がいる。要するに先程の自治会に入っていない訳である。そういう人達がいっぱいいる。そういう人達の住民サービスとしても必要である。メディアの情報提供について、当市は基本的なホームページの更新が非常に遅い。議会ではリアルタイムで中継されている。</p> <p>内閣府ではラインで情報を流している。リアルタイムの画像をラインで流して公開されている。それにはコストが掛かるかも知れないが、見る人が違うことで、様々な角度から情報を発信できるようにしたらいいと思う。</p>
委員	<p>自治基本条例制定から9年経つが身についていない面もあるが、議会報告会やタウンコメントについては、ひとつひとつ条例にしたがって近づけていると思う。</p>
委員	<p>地域コミュニティ活性化事業の話聞いて、自分も川滝地区の活性化事業に参加した。今まであった自治会や団体の枠を超えた人達が集まり、その集まりで事業を始めていることがすごくいいなと感じた。自治会の無い地区の者からすれば、自治会の強化というよりも、新しい地域コミュニティという団体ができることになる。若い世代が地域の事に加わっていくとなると、今までの自治会という形ではなく、地域コミュニティという新しい組織に入ることになる。地域コミュニティが自治会に変わるものになってほしい。自治会の調査等は、本当に必要かどうか分からないが、できるのなら私達が進めているコミュニティ活性化事業に変わって欲しいと思う。</p>
委員	<p>モデル3地区で事業を開始されているが、地域の日々の課題がまだまだ埋もれている。この課題から地域で課題解決に向けた計画が作成された。これを全地域で行ってほしい。地域の人が顔を合わせて課題を出して情報を出し合う。これが市民意識の醸成につながると思う。地域コミュニティ協議会や自治会等の名前はどうでもいい。どの地区にどういう受皿があるかということである。多少批判されても「事業をしないよりした方がマシである。」地域コミュニティ協議会を早く送り出してほしい。</p>

<p>委員長</p>	<p>コミュニティ、自治会、どう違うのか。コミュニティをどう理解したらいいのか。留学先のイギリスで聞いたが要するに協働性のあるものが全部コミュニティだろうと考える。大学もコミュニティだし、テニスのクラブもコミュニティであることでコミュニティはかなり広い抽象的概念だと言われている。</p> <p>ホームページに課題を出して「いつまでにコメントして下さい。」というスタイルが多い。これでは中々浸透しない。やっぱり人はフェイス to フェイスで意見を言い合うと問題意識が過敏になって文章も丁寧に読んで意見が交わされるが、パッとネット上に出されると、まず気が付かないし、それから見ても何がテーマか解らないことが多い。何がポイントか解らないので、非常に難しいとは思いますが、一度考えて、どこか公開の場で議論して、それをケーブルテレビで放送して貰ってそしてどういう事が問題になっているのかというような流れが必要である。ちょっとした演出みたいなことをしながら、ネットを使うという風な形をとらないとなかなか市民の人の意見が出てこないという感じがする。そういう意味で少し最近タウンコメントとかパブリックコメントが普通になっている。どこの市町村も行っているが見直してみたらどうかと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>色々意見があった中で、広報誌の件はある程度変化を持たせながら文字のサイズを変えてみることや、縦横眺めて考えないといけないと思う。HPも早く古い情報は消すよう指示している。しかし、市として新鮮な情報を流したいが、間違った情報を流すわけにはいかないことのほか、人手の関係で難しさはあるが、できるだけ早く新しい情報を出せるよう努力したい。</p> <p>タウンコメントや啓発の件では、先日の参議院選挙で投票の啓発に市長をはじめかなり努力したが、残念ながら愛媛県内で最低の投票率であった。四国中央市の文化でどこかあきらめているような風習がある。どうしたら四国中央市の投票率を上げることができるかいい知恵があれば教えてほしい。タウンコメントの回答も実際問題として少ない。</p> <p>自治会等の把握は自治会と呼べるものはあるのか、また広報委員会でも協議してまとめてもらうようにしたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>「市民で灯そう10万の光イルミネーション事業」を、イオンの前に例年11月から1月末まで市民と行政が協働して行う象徴的な事業の一つとして取り組んできたが、残念ながら実行委員会の方と協議したところ、事業については方向転換を行い、装飾については行わず、今まで購入しているイルミネーションについては市民の団体に貸し出す事業に転換する事で決定したので報告する。事業内容の再確認を行い、事業見直しの一環としても、原点に立ち返ってみると初年度の想いも失われてきており、人が変わっていく中でどうしてもモチベーションの問題や色々な問題がある中、事業について見直す方向で協議されてきたが、今年度正式に見直す事で合意されたので報告する。</p>
<p>委員長</p>	<p>その他特になければ閉会とする。</p>